

平成 30 年度 CPD 協議会全体会議 議事録

日 時： 平成 30 年 5 月 30(水) 11:00～11:50

場 所： 地盤工学会 会議室

出 席：(敬称略、出席者は下記アンダラインの各位) 出席 10 名、オブザーバ出席 1 名

協議会会長：須藤亮、 副会長：石原直、高木真人

運営委員：奥津良之、尾崎章、小澤郁夫、渡邊誠、

委 員：湯本公庸、田中良彦、田中ひろみ、石川芳治、今泉文寿、坂口清敏、原田克之、
児玉公信、植山淑治、中野弘伸、八坂保弘、持田侑宏、鈴木忠道、宮元均、
田辺朗、高田英治、井上和久、新宅英司、塩見誠規、村上存、根岸正己、岡田博、
眞島俊昭、佐藤翔、本間泰造、石川義信

オブザーバ：原龍雄

議 題：

1. H29 年度活動報告および決算（報告事項）
2. H30 年度活動計画および予算（報告事項）
3. H30 年度の運営について（決議事項含む）
4. その他

配布資料：

0. 平成 30 年 CPD 協議会全体会議議題（本紙）
1. 日本工学会 CPD 協議会 会員学協会、役員・委員名簿
2. 前回（H29 年度）CPD 協議会全体会議議事録
3. 平成 29 年度事業報告および決算（案）
4. 平成 30 年度事業計画および予算
5. 新運営体制について
6. 【参考】日本工学会 CPD 協議会規程（H27.1.20 改正）

以上

議事：

- 0 会長挨拶および、会員、役員、委員名簿の確認、本日の議題について

須藤会長より開会挨拶があり、これに引き続き、オブザーバを含む出席者 10 名の自己紹介が行われた。

高木副会長より、本日の議題のうち H29 年度活動報告および決算、H30 年度活動計画および予算については、メール審議で承認の後、日本工学会理事会において、全体活動の一部として承認されており、本日は報告事項になる旨説明があった。なお平成 29 年度事業報告および

決算については、6月1日に開催される平成30年日本工学会定時社員総会で最終審議される旨、併せて説明があった。資料1に添って、CPD協議会の会員名簿、役員・委員名簿の確認が行われた。資料2の前回（H29年度）CPD協議会全体会議議事録について、既にメール審議で承認されている旨説明があり、概要が報告された。

1. H29年度活動報告および決算（報告事項）

高木副会長より、資料3を用いて平成29年度事業報告および決算(案)の報告がなされた。

H29年度の主たる活動については、公開シンポジウムが年間2回開催した他、CPDプログラム委員会関連活動では、CPDポータルサイトやCPD Webサイトなどの活動基盤再整備と共にCPD活動の情報共有推進を行い、活動を活性化したことなどが報告された。ECEプログラム委員会関連活動では、現行のECEプログラム（第Ⅰ期および第Ⅱ期）の推進と次期ECEプログラム（第Ⅲ期）の検討推進などが報告された。

2. H30年度活動計画および予算（報告事項）

高木副会長より、資料4を用いて平成30年度事業計画および予算の報告がなされた。全体活動については、CPD協議会シンポジウムによりCPD協議会活動の社会への訴求を図り、日本工学会としてのCPD活動の中期的取り組みに結び付けていくと共に、CPD関係情報共有活動の強化、国・産業界との連携強化などを進めることなどが説明された。CPDプログラム関係では、CPDポータルサイトなどの活動基盤整備、CPD活動に関するベストプラクティス情報共有体制整備、学協会CPDシステム構築支援の推進が報告された。ECEプログラム関係では次期ECEプログラムの検討推進として、産業界が直面する課題に対する活動を、CPD協議会会員学協会との共同主催も視野に入れた第2.5期プログラムとして検討するため、独立行政法人、産業界、学協会等、各セクターにおける高度技術者教育に対するニーズを把握するとともに、民間企業が実施する技術者教育プログラムの調査を行い、ECEプログラムとしての認定可能性、CPD単位付与可能性などについて検討を行うことが報告された。

3. H30年度の運営について

高木副会長より、原龍雄氏のCPD協議会広報委員長及び運営委員への推薦の説明があり、審議の結果承認され、次回日本工学会理事会に諮ることになった。

4. その他

CPD活動について、日本工学会全体の事業として進める検討も必要ではないかとの意見があり、引き続き検討することとした。また、日本工学会CPD協議会規程に参考として記載されている組織図に、広報委員会の記載がない旨指摘があったので、修正することとした。

以上